



Title	利用学生の声 サイバーメディアフォーラム no.8 情報教育システム
Author(s)	
Citation	サイバーメディア・フォーラム. 2007, 8, p. 31-33
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/70249
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

利用学生の声

私が初めてパソコンに触ったのは中学校の情報の授業ででした。

学校のパソコンはすべて windows で、それから何ヵ月後かに我が家が購入したパソコンも windows でした。

私はインターネットばかりをしていてそのほかの機能は学校の授業以外ではほとんど触ったことがなかったもので、大学での情報の授業が始まる前は、まったく使ったことのない Linux システムを使うことができるだろうかという不安がありました。

しかし授業が始まり、いろいろな機能に触れ、理解するのに時間はかかるものの徐々に慣れていくことができたように思います。

windows との違いに多少は戸惑いましたが、基本的な構造は一緒なので割と早く順応できたと思います。それでもやはり元々機械が苦手なので、わからないこと、できないことも多くあります。

これからレポートを提出したりプレゼンテーションをしたりする機会が増え、さらには職場でもパソコンを使う能力が必要になると思うので、情報の授業を通して少しずつでも理解を深め、windows でも Linux でもパソコンを使いこなせるように努力をしたいと思います。

これからもよろしくお願いします。

これまで Windows しか使ったことがなかったので、最初はなんとなくとまどいでしたが、使ってみると意外と使いやすいと感じました。

自宅のパソコンからのデータの移動に、USB メモリなど使えると便利なのですが、使える場所が限られているのが少し残念です。

これまで Windows としか付き合いがなかった私ですが、想像していた以上にとつきやすいシステムでした。

むしろ、授業のなかで説明があったということを除

いても、Windows よりメニューやアイコンの表示が分かりやすく、安心して操作できたようにも思います。システムの感想とは少し外れるかも知れませんが、唯一気になったのは文字の入力と変換の勝手がずいぶん違うことでした。これに関しては Windows のほうが馴染みやすいようです。

頻繁に変換する候補でもなかなか記憶してくれず、そのたびに時間がかかるのはやや不便です。

とはいえど、基本はとても使いやすいシステムです。特に GIMP は、Windows でいうペイントのようなものかと思いきや、意外に本格的な機能があったりして驚きました。ホームページをつくる際にはテキスト・エディタのタグ表示（タグに応じて色が変わるなど）に助けられましたし、素人の私にも優しいシステムだと思います。

Windows 以外の OS を使用するのが初めてだったが、現在、自分が使っている段にはあまり大きな変化がなく、大体は快適に使えていると思う。

不満点を挙げるならば、日本語の変換があまりうまく行かないことだろうか。

中国の王朝名の「清」が、「しん」で変換できなかったりして、少々使い勝手が悪い気がする。

やはり家で使っているのが Windows なので、Microsoft Word や Excel がないのは使いづらいですね。

他のソフトの使い方をいちいち覚えていかなければならないので。

また、学校にあるパソコンで同じユーザ名でログインしても、Dell と Call ではフォルダが共有されていないのも厄介です。

授業でつくったデータに手を加えようとしても、Linux を使える教室全てが他の学部の講義で使えないことがよくあります。

そういうときに Call で代用しようとしても、フォルダが存在しないので為す術がありません。

どの種類のパソコンからでも自分のデータは統一されている方が、個人的にはやりやすいです。

Windows に慣れていたので最初は戸惑いましたが、慣れると使いやすいです。

特に HTML を書く場合、タグの色が変わって表示されるのがとても便利だと思います。

今まで触れたことのあるパソコンの OS は殆どが Windows でしたので、それに慣れていましたが、Linux のパソコンを使用しているうちに、Linux も使いやすいと思えてきました。例えば、画面上端のタスクバー？にショートカットが貼り付けられているので必要な時に他のウィンドウを多数開いている状態でもワンタッチでホームや gedit を開けることや、テキスト反転&マウスの真ん中クリックでコピー&ペーストできることなどです。

Linux というシステム自体初めて聞いたので、操作に手間取るところもありました。

メール・ドローイング・ウェブブラウザなど、いつも使っている Windows と違うところもたくさんあり、正直、これから Linux など使う機会はないだろうに、何かの役に立つのか...とも思いました。

しかし、同時に、Windows に慣れきっている私には、新鮮な体験となりました。

ウェブブラウザの見え方が Windows と違うことを知り、どんな環境のユーザーにも使いやすい web ページについて考えるきっかけにもなりました。文章で、「□」 = 「@ほし」、「...」 = 「@さんてん」、「♪」 = 「@おんぷ」など、記号の打ち方がいつも使っていたのとは違い、とても衝撃的でした。

色々大変なこともありましたが、良い経験になったと思います。

Linux システムと普段使っている windows と使用感はほとんど同じだと思います。ただ、自分の使いたいソフト等がどこにあるか分かりにくいときはあります。

システムを使ってみて思ったことは、意外と使いやすい、ということです。

最初は何故わざわざあまり見かけないシステムを利用

するのかと思ったのですが。

使える機能は Windows と変わらないし使ってみると違和感はなかったです。

windows を使った経験しかなく最初は戸惑いましたが、指示に従いながら操作をしていくことで徐々に慣れ、授業で使用するにはとても使いやすいと思いました。

Linux システムの使用を通してパソコンの基本的な操作をよりわかりやすく学ぶことができたと思います。

普段の生活や社会に出てからは windows を使用する機会が多いかと思いますが、Linux システムを通して得た経験はきっと生きてくるとしています。

今後も表面的な操作だけでなく、その仕組みについて考えたり、使用する上でのマナー・倫理を勉強しつつ、積極的に活用していきたいです。

わたしは今まで Windows しか使ったことがありませんでしたが、Linux も特に違和感なく使えました。家ではメールとインターネットくらいしか利用しないのでホームページを作ったり、プログラミングをする授業をはじめは心配でした。

高校の時プログラミングを少し習って、全くわからなかったのでどうなることかと思いましたが PEN は日本語でわかりやすく、簡単なプログラムなら自力でも作成できたので驚きました。

初めて windows 以外の OS を使ったので、かなり戸惑いはありました。名前が変換されないのも、他の人より無駄に苦労しました。元々パソコンを使い慣れていなくて、何もできませんでしたが、課題の Web ページを作ることはできました。プレゼンテーションでは、役割分担をしてグループとしてうまく活動できたと思います。最後のプログラミングは、なかなか授業の進度についていけず、戸惑ってばかりでした。でも、プログラミングは自分でつくれるという事に感動しました。1文字間違えるだけでうまく実行されないのも、すごく繊細なものだと改めて感じることができました。

今まで Windows しか使ったことがなかったので、Linux システムに違和感は感じました。でも、記号の入力方法や表示のしかたくらいで、Linux システム自体で不便だなと思ったり困ったことはなかったです。記号の入力に関しては、その記号の正確な名称がわからなければ入力できないのが戸惑いました。でも、いろんなソフトをダウンロードする際、「Windows 版」と「mac 版」はよくみるけれど「Linux 版」はみたことがありません。そうゆうときに、困ることはないのかなあと思いました。

Linux というシステムの名前を聞くのも使うのも初めてだったので、最初は戸惑いました。毎週使ううちに慣れてきて徐々に使いやすくて思えてきました。けれど、やはり家で使うパソコンと違うので、毎回使い方を思い出す感じで使いました。

HP 作成授業についてですが、近頃は個人ページも簡単なテンプレートに当てはめて作れるようになった時代です。パソコンの構造や機能を知る上では HTML の方が適当なのでしょうが、簡単で新たな作り方も学んだ方がより実践的で、入学したての情報授業としての PC に対する抵抗も少なくなるのではないのでしょうか。

プレゼンテーション発表の際にレジュメを印刷配布しないと、各自モニタに目が釘付けになって発表者の方を見にくいと思います。プレゼンの内容自体はどれも情報機器を使う上で役立ちそうなもので、ためになりました。

Linux には慣れるまで少し違和感を感じましたが、慣れた後は逆に Windows よりも簡略で使いやすさを感じます。ただ個人フォルダが別々になっていることや、ソフトの互換性が怪しい所は少し不便です。CALL や自宅で作ったファイルが Linux で開けないとなると相当焦りを感じます。

Web ページ作成やプログラミングは慣れないことば

かりで、少しでも違うところがあると上手くいかないのが戸惑うことが多かった。その分ちゃんと表示された時はとても嬉しかった。Linux は初めて使ったのだが、Microsoft のワード等との互換性が完全で無いのでとても使いづらい。学校で Office の writer で作成した文書をメール添付しても、家で開くことが出来ず不便である。学校でつかうパソコンと家で使う (Windows) パソコン間の互換性がもっと高まれば、より使いやすくなると思う。

私はこの講義を受けるまで Windows 以外の os を使用したことがなかったので、Linux という os を使用するのに最初は戸惑いました。しかし、講義を受け、課題などで活用していくうちに、基本的な部分は Windows とあまり変わらないことがわかり、こちらの os にも抵抗感はなくなっていました。新しいシステムを使用することは新鮮で、コンピュータをより大きな視野でとらえることができたので、良い体験であったと思います。